



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



5月号

令和3年度

5月6日(木)

1. ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

みどり(緑)の話

檜原村立檜原小学校

校長 乙津 秀敏

緑が美しい季節となりました。4月の児童朝会で「緑のグラデーション」の話をしました。校庭から見える山々の様々な緑色を捉えて、ふるさと檜原の自然の美しさについて、そしてこの美しい自然を後の世代に伝えていくために、SDGsを意識しながら学習に取り組んでほしいということをお話しました。

さて、今月号ではこの「みどり(緑)」という色・言葉に注目してみたいと思います。と言いますのも、この緑色について私には小学校時代の忘れられない思い出があるからです。ちょうど私が5年生くらいだったかと思います。当時、図工の時間に写生をする機会がありました。学校内の好きなところに行って写生をするのですが、私は学校の側の雑木山が見える所に行き、さっさと下書きを済ませて大胆に緑色の絵の具をたくさん出して大雑把に筆を走らせていました。そこに先生が現れてひと声かけてきました。「君にはこの山がその色だけで見えているのかな?よく見てご覧・・・。」と。ちょうど今の時期と同じ頃でしたので、山には様々な緑色が混在していました。先生はいくつかの木の名前を挙げながら緑色は心が落ち着く不思議な色だと話しました。確かに濃淡様々な緑色がそこにはありました。そこで私はその後絵の具を混ぜてそれらの色を作り出しながら時間いっぱい楽しく塗り進めたことを覚えています。これが私が緑のグラデーションに意識を向けるようになったきっかけです。

緑色については、高校で美術の時間にこの色は暖色系でも寒色系でもなく、中間色に分類され、心を落ち着かせ、想像力を高め、安心感を与える色と知りました。そのときの先生は虹の色を例に挙げ、虹の中で緑色は中央に位置するのを見ても分かるようにとても安定感がある色だと話したのを覚えています。その後、再びこの色について注目したのはつい最近、青色LEDについてのニュースを知ったときです。もう7年前になりますが2014年に赤崎勇先生(名城大学教授)、天野浩先生(名古屋大学教授)、中村修二先生(カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)の3人にノーベル物理学賞が授与されたニュースです。ご存じのように現在我々が利用しているLED照明は、青、赤、緑のLED三原色を混色して様々な色を作り出すとともに“白色”をも作り出しています。人が認識できる全ての色はこれら3原色から作り出すことができるようです。今、生活の中の様々な照明がLEDへと移行しています。この色は私たちの生活に欠かすことができない重要な色となっています。

実はもう一つ、この「みどり」という言葉には今まで述べてきた「みどり(緑)色」という意味では表現できないものがあります。一例を挙げると「みどりの黒髪」や「みどり児」といったものです。この場合の「みどり」という語は本来、草木の新芽や初夏の若葉そのものを指した言葉だそうです。確かにこの言葉からはみずみずしさや生き生きとした生命力を感じます。おもしろい言葉です。

以上みどり(緑)について思うがままに書いてきましたが、冒頭にふれたSDGsでは、ターゲットの3、13、15に緑色が使われています。特に15は「陸の豊かさを守ろう」というターゲットで、檜原村の果たす役割はとても大きいものと思われます。学校としても意識して取り組んでいきたいと思っています。ここでまた緊急事態宣言が発令されました。これを受けて学校では感染症対策を今一度見直し万全を期して参ります。このような中ではありますが、これから夏に向け活動しやすい時期に入ります。この美しい「みどり」に囲まれた檜原小の子どもたちには、この語が表すように生き生きと様々なことにチャレンジし、学校生活を満喫する日々を送ってほしいと願っています。

1年生を迎える会

4月13日に1年生を迎える会を行いました。
今年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、入学した1年生が、4年生とわかかを紹介して手をつなぎ、花のアーチをくぐって、体育館に入場しました。6年生が司会進行を務め、5年生の考えたゲームも楽しみました。各学年それぞれが工夫を凝らした内容で、新1年生を歓迎しました。児童数51名の檜原小学校は、皆が仲良しで兄弟姉妹のような学校です。今後も集会活動を通して、子供たちの絆を一層強めてほしいと願っています。

特活部 河野 香織



遠 足

4月23日、5・6年生が大岳山、4月28日、1・2年生が金比羅山、3・4年生が大羽根山に遠足に行きました。普段の学校の学習とは違う異学年での活動を通して、下級生に優しく声をかけたり、遊びに誘ったりなど、子供たちの新たな一面が見られました。また、落ちているゴミを拾い、きれいな山にしようとSDGsにもつながる行動が見られました。



5月の生活について

ていねいな言葉づかいをしよう

言葉は、自分の気持ちや考え、感情等を相手に伝え、人との関わりを深めるためのコミュニケーションの基本です。

友達と先生、学校と家庭など、相手や場面に合わせた言葉づかいを意識して、気持ちのよい生活が送れるように取り組んでいきます。

ご家庭でもご協力をよろしくお願いたします。

生活指導担当 新藤 智美



体力向上推進優秀校受賞

令和2年度、檜原小学校は、元気アップウィークやマラソン大会などの体力向上に関する取組が認められ、2年連続で東京都体力向上推進優秀校を受賞しました。

今年度も体力向上に向けた取組を進め、児童が心身共に成長することができるよう、進めて参ります。

